

阿久比町立



図書館

●阿久比町立図書館 ☎0569 (48) 6231 ●開館＝火曜日～金曜日 午前10時～午後6時、土曜日・日曜日・祝日 午前10時～午後5時
●休館日＝毎週月曜日、毎月最終木曜日 ※その他、館内整理など不規則の休館もありますのでお問い合わせください。

今月のおすすめ ◆◇◆一般書◆◇◆

これ以外にも多くの
新着図書があります

『すべての新聞は「偏って」いる ホンネと数字のメディア論』
荻上 チキ 著(扶桑社/2017年)

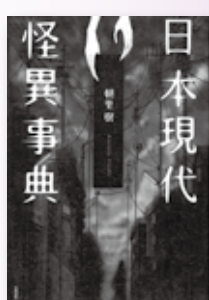
『家族を笑顔にする パパ入門ガイド』
ファザーリング・ジャパン 著(池田書店/2018年)

『健康が歩いてやってくる! 五街道ウォークのすすめ』
八木 牧夫 著(山と溪谷社/2018年)

『みんなの機内食 天空のレストランへようこそ!』
機内食ドットコム 著(翔泳社/2018年)



『老後と介護を劇的に変える食事術
食べてしゃべって、肺炎、虚弱、認知症を防ぐ』
川口 美喜子 著
(晶文社/2018年)



『日本現代怪異事典』
朝里 樹 著
(笠間書院/2018年)



『星空の谷川俊太郎
質問箱』
谷川 俊太郎 著
(ほぼ日/2018年)



『企画展だけじゃもったいない
日本の美術館めぐり』
浦島 茂世 著
(G. B. /2018年)



展示ホール

- ★スケッチ燦展 3月25日(日)まで
- ★墨親会水墨画展 3月28日(水)～4月8日(日)

おはなし会

おはなしコーナーで、紙芝居や絵本の読み聞かせ
など子ども向けの楽しい催しを行います。
○土曜日 午後2時30分～
○日曜日と祝日 午前11時～、午後2時30分～

子どもと本を読もう!57

『やさしいかいじゅう』
ひさまつ まゆこ 作・絵(富山房インターナショナル/2013年)

森の中のそのまた奥に、一匹のかいじゅうが暮らしていました。かいじゅうは、そのおそろしげな姿から、森の鳥や動物たちから仲間はずれにされ、さびしくて毎日泣きました。でも、彼の涙により芽生え、彼の体により風雨から守られた1本の苗木が友達になり、やがてかいじゅうよりも大きく育ち、たくさんの実をつけます。嵐がやってきて、森が飢饉(ききん)のとき、その実は森の鳥や動物たちを助けてくれるのです。純粋なかいじゅうの心につれ、優しさについて考えられる一冊です。(小学校低学年向け)



阿久比町子ども読書活動推進計画

『へびくんのおさんぽ』
いとう ひろし 作・絵(鈴木出版/1992年)

長い雨もやっとあがり、へびくんはお散歩に出掛けます。すると、道の真ん中に大きな水溜りができていました。へびくんは長い体を利用して「よっこらしょ」と水溜りをまたぎます。そこへアリさんたちがやって来て、へびくんの背中を橋がわりに、水溜りを渡らせてと頼みます。ついでにと、カタツムリやトカゲ、ネズミたちまで。気のいいへびくんが、次々に渡らせていると、渡る動物たちが次第に大きくなってゆき、とうとうあの大きな動物までもやって来ました。へびくん、本当に大丈夫?(幼児向け)

